



情報ギャラリー第25号
 発行日 2004年1月27日
 編集 グループ“わ”広報部
 発行者 赤司 松美
 発行元 神戸市シルバカレッジ
 社会還元センターグループ“わ”
 TEL(078)743-8101 FAX(078)743-8103
 Eメール gallery@wa-net.jp
 ホームページ http://www.wa-net.jp

2004年の年頭にあたって

グループ“わ”代表 赤司 松美



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素は“わ”の活動、運営にご協力とご理解を戴き誠にありがとうございます。厚く感謝申し上げます。年頭に当たり挨拶かたがた本部として下記重要事項について報告させて戴きます。

1. NPO法人格取得見通しについて

現在の各会員の活動を基盤とし、組織として更なる活動と発展を目指して1昨年より検討して参りましたNPO法人格取得については、昨年12月に会員への説明会を終え、NPO検討委員および運営委員を発起人としてNPO発起人総会で最終審議承認を得て同12月24日、県へ正式に申請を行い、今年1月23日、正式に受理されました。2ヶ月間公開されて4月末には承認の見通しであります。任意団体より法人格団体への移行準備については万全を期しさらなる発展に努めることといたします。

2. ボランティア活動による傷害、賠償保険の選択について

“わ”のボランティア活動による事故による会員の傷害補償、会員および団体として賠償責任を負うことによる損害を補償する適切な保険はないかと保険検討員会で検討し12月の運営委員会で検討結果を提案し審議の結果、平成16年度は、あいおい損保の「NPO総合保険」を選択することに決定しました。詳細は別項「ボランティア保険に関する重

要事項の案内」を参照ください。

3. FFPイベント協力支援の報告

フルーツフラワーパークでは一人でも多くの人に利用されることを目指して努力されています。その一環として昨年11月23日～30日の8日間、「スローライフ」をテーマとしたイベントが開催されました。開催に当たりそのイベントの協力支援を依頼されグループ“わ”として11月23日(日)オープニングシンポジウムの「スローライフを語ろう」のパネラーとして代表が参加したのをはじめ、11月24日(月)の「中高年男性の料理教室」、11月25日(火)のニュースポーツ体験での「スカイクロス」、11月30日(日)の「昔あそび」をそれぞれ銀の匙、いきがい部会、文化部会のグループが企画打ち合わせから協力し、豊富な経験やノウハウを生かし主催者の期待に十分応えることができ、さすがグループ“わ”との評価を戴き、体験参加者にも多くの感動を与え感謝されたことを報告いたします。イベント協力支援のグループの皆様紙面を借りてお礼申し上げます。なおフルーツフラワーパークからは今後共“わ”の協力を熱望されています。

4. 「神戸ふれあい工房」運営団体応募について

神戸市社会福祉協議会では神戸市内の障害者の授産施設や小規模作業所棟で製作している授産品をデュオ神戸地下街で販売したり作品を展示する「神戸ふれあい工房」店舗が開設から4年が経過し、事業のより効

率的な運営をめざすために新たにH16年度運営団体を募集することになり、グループ“わ”にも運営団体として正式に応募要請がなされました。最終的には応募団体の中より書類審査、プレゼンテーション、ヒヤリングの上、選出し2月中に内定されることになっています。

現在店の体制は責任者1名、販売員2名、計3名が営業時間中常駐する体制で運用されており、原則として毎月第3水曜日および年末年始を除く毎日が営業日であり、営業時間は午前11:00～午後7:00、土、日、祭日は午前11:00より午後8:00であります。売上額の2割(H14年度売上総額約3千百万円)が運営団体の人件費および運営経費に充当される予定とのことです。

有償とはいえ、その営業日、営業時間に対応した責任者、販売員を配置し1年間円滑な運営管理に支障のない組織体制が責任を持って取れるか否かが「応募する、しない」のキーポイントになります。

本部からは昨年末、郵送で1月9日ㄨで全会員に「ふれあい工房」従事希望者を募りました。その結果、責任者候補の管理従事希望者4名があり、その希望者と取り急ぎ1月13日協議をし、検討を重ね、見通しを立てた上で必要であれば更に販売員希望者とも打ち合わせして、組織体制の見通しが立ちましたので、1月26日のプレゼンテーションに応ずることといたします。

どうぞことしもお協力、ご理解を賜りますようお願いいたします。